

シンポジウム

戦略的大学連携支援事業
「口腔医学国際シンポジウム」開催
〜アクロス福岡国際会議場〜

江藤一洋日本歯科医学会会長ら
多数が聴講

12月4日、アクロス福岡国際会議場において、戦略的大学連携支援事業口腔医学国際シンポジウムが開催されました。当日は「Grand Design for Future Dentistry」をテーマに沿って、田中健蔵理事長（基調講演）、ダルハウジー大学 M. Michael Cohen Jr. 教授、ケンタッキー大学 David A. Nash 教授、ベルン大学 飯塚建行教授、東京大学高戸毅教授、北海道大学 戸塚靖則教授が講演を行いました。また、ディスカッションでは北村憲司学長をファシリテーターに、活発な議論が交わされました。連携大学の学長・学部長含む全国の大学関係者・医療関係者および一般聴講者約240名の参加があり、盛会のうちに終了しました。



Prof. M. Michael Cohen Jr.



Prof. David A. Nash

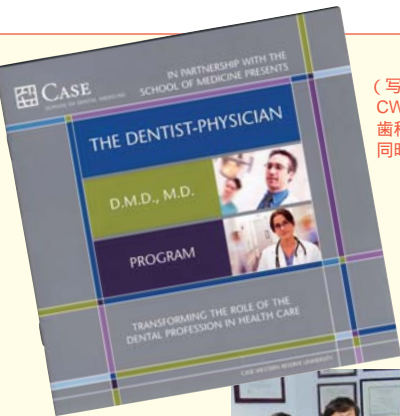


International Symposium on Oral Medicine“ Grand Design for Future Dentistry ”
日時 / 平成22年12月4日(土) 13:00 ~ 18:00 場所 / アクロス福岡 4階 国際会議場

プログラム

- ・Prof. Kenzo Tanaka, Chairman, Board of Trustees Fukuoka Dental College / 基調講演: “ Establishment of Education System of Oral Medicine and Integration of Medicine and Dentistry ”
- ・Prof. M. Michael Cohen Jr., Dalhousie University / “ The Integration of Medicine and Dentistry with Special Reference to the United States ”
- ・Prof. David A. Nash, University of Kentucky / “ Integrating the Education of Dentists with Physicians : The Challenge and the Imperative ”
- ・Prof. Tateyuki Iizuka, University of Bern / “ Dental Education and Oral Health Care System in Europe : What Happened in 10-years of the Bologna Process ”
- ・Prof. Tsuyoshi Takato, University of Tokyo / “ Dental Innovation and the Future of Oral Science ”
- ・Prof. Yasunori Totsuka, Hokkaido University / “ How to Innovate the Dental Education in Japan : The First Step in the Paradigm-shift from Dentistry to Oral Medicine ”

講演者 / 講演タイトル



(写真1) CWR大学では5年間で歯科・医科(DMD&MD)を同時に修得できる。

(写真2) Boston大学oral medicineのChou教授のofficeにて。左から昭和大学・島田講師、北海道医療大学・安彦教授、Chou教授、大星教授。



この度、文部科学省戦略的大学連携支援事業の一環として、10月21日より約1週間、米国東部のCase Western Reserve大学(CWRU) Boston大学(BU) School of Dental Medicineを視察した。CWRUはOhio州Clevelandにあり、Goldberg学長の強力なリーダーシップの下、研究志向への改革、DDSからDMDへの変更、PBLの大幅な導入、医師・歯科医師の両ライセンスを5年で取得できるコースの設置(写真1)など、変革の活気に満ちた大学であった。後半に訪れたBUは、全米でも早期からOral Medicineを導入・確立しており、その推進者で病理学者でもあるChou教授(写真2)から、今後日本での増加が予想されるHIV関連口腔内病変についての豊富な臨床経験に基づいた講義も拝聴した。両学部とも入学希望者の倍率は30倍以上で、米国では歯学部がさらに24校新設されることであった。医学、特に内科系教育の重要性を両大学ともに強調していたことが印象深い視察であった。

海外視察レポート

内科系教育の重要性を実感した
米国東部2大学視察の旅

総合医学講座内科分野・教授 大星博明